



進路だより

2025. 10. 1
第73号
香川東部支援学校
進路指導部

はたらく

教頭 多田 守

数年前の卒業生が、保護者と一緒に来校してきました。一般就労をしていたが、体調が悪くなったので辞めたいという相談でした。長年勤めてきたが、ここに来て仕事のノルマが達成できなくなり、保護者が何度も呼び出されたと話していました。詳しい事情を聞いたうえで進路変更を薦めることにしました。

みなさんの周りで、専門学校や大学で専門的なことを学び、その専門性を発揮できる会社に就職して、転職せずに務め続けている人は何人いますか。障害者であれ健常者であれ、高校を卒業する18歳の時点で天職を見つけることは至難の業だと思います。一般就労と福祉就労とで悩む場合、また就労継続B型と生活介護とで悩む場合など、様々なケースがありますが、卒業する時点で焦点を当ててではなく、少なくとも数年後を予測して進路を決めることが大切だと思います。

私は進路指導を担当していたとき、自分の力を把握できていない生徒に対して「長い時間働いてたくさん給料をもらうのと、給料は安いけど短い時間働くのとどちらがよいか。」と聞き、本人の実力に合った進路方向へ導くようにしていました。一方、働く力をもっているのに自己評価が低い生徒には、給料や待遇などの働くうえでの魅力を説明して、前向きに進路選択するよう導きました。また、自分も持っている力以上の進路先を希望する生徒に対しては、それぞれの事業所から求められるものを説明し、長期間に渡って継続できるか考えてもらうようにしました。目の前の願いを叶えてあげるのではなく、卒業後の長い人生で背伸びをすることなく、安定した社会生活になることに重点をおいて進路支援をするようにしました。

一方、進路相談を受ける際に、やりたい職種は聞きますが、どうしても無理な職種も聞くようにしていました。

進路先には、一般事業所（企業）以外に就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、生活介護事業所等いろいろな種類があります。保護者進路研修会や事業所見学などをおしごと確認いただき、お子様に適した進路先をご希望いただけたらと思います。職種については、希望を100%叶えてあげられないことが多々あります。そのため、希望する職種に加え苦手な職種や職場環境などを進路相談会などで申し出ていただけると助かります。

相談にきた卒業生は、卒業時点での一般就労を諦めて就労移行支援事業所への進路を選択しました。そこで訓練を重ね、しばらくして一般就労へとつなげることができました。そして、数年間の就労を続けたのちに、今回の相談にいたりしました。今回、本人は辞めるなどいわれると思いながら訪れたと思います。私から進路変更を提案し、それを聞いて安心した本人の表情をみて、お父さんもホッとしたご様子で帰られました。

卒業後の長い人生において、いろいろなことがあります。支援学校の進路支援は永久保証となっておりますので、いつでもご相談にお越しくください。

小学部

小学部では、中学部や高等部のお兄さんお姉さんたちを目指して、日常生活において自分にできることを増やし、みんなの役に立つ仕事をする学習に取り組んでいます。性に関する指導の学習として顔の洗い方の勉強をしたり、毎日の活動の一環として廊下の清掃をしたりしています。日々、できることが増えて褒められたり、「ありがとう」と言われて喜んだりする経験を積み重ねて、将来の生活に向けた力を少しずつ獲得しています。



中学部

前期作業週間：6月16日（月）～20日（金）



「園芸班」では、野菜や花を育てるために、種や苗を植える以外に、土づくりや草抜き、水やり、収穫や販売などいろいろな作業に取り組みました。今年は暑い日が多く作業が大変でしたが、みんなで一生懸命取り組み、たくさん収穫することができました。



「紙加工班」では、様々な作業内容（牛乳パック切り、ラミネートはがし、紙ちぎり、ミキサーかけ、紙すき、プレスなど）を役割分担して、各自が目標作業量を意識しながら時間いっぱい取り組むことができました。依頼や報告の際には、姿勢や視線に留意して、丁寧な言葉で伝えることができました。

「受注班」では、ペットボトルつぶしやラベルはがし、ボトルやキャップの洗浄・分別、ベルマークの仕分け等の作業を分担して取り組みました。どの生徒も時間いっぱい丁寧に作業をする意識をもつことができました。



「手芸班」では、羊毛をニードルでまとめる作業や、ラッピング用の袋のラベル貼りなどの作業に取り組みました。細かい作業も多く、苦戦しながらも、決められた作業に一生懸命取り組むことができました。





高等部



1年 前期校内実習

高等部1年生は、「Do My Best」のテーマのもと、6月11日（水）から24日（火）までの10日間、校内実習に取り組みました。最初の3日間は、毎年1年生が職業能力アセスメントとして実施しているボールペン検査（組立・分解）をしました。1時間ごとに自分のデータを確認しながら自己評価し、目標の数に到達するよう全力で取り組みました。長時間の立ち仕事は初めてでしたが、3日間で全員がスピードアップすることができました。2週目からは、園芸・陶芸・軽作業の3班に分かれて作業をしました。各班で役割分担をしながら、繰り返し作業を行うことで任された作業を確実に取り組めるよう、緊張感をもって全員で協力し、最後までやりきることができました。また、19日に2年生の実習先の見学に行きました。それぞれの場所で真剣に実習に取り組んでいた先輩から刺激をもらい、来年度は自分たちが学校を出て現場実習に行くことを意識することができました。長尾寺での清掃作業をしたグループでは、責任をもって落ち葉集めや草抜きに取り組みました。長尾寺の清掃では、初めての外部作業で緊張することもありましたが、職場の方の顔を見て挨拶や報告をし、長尾寺に来られる方が気持ちよく過ごせるよう、一生懸命取り組むことができました。前期校内実習では、全員がどの場面でもBestを尽くして作業に取り組むことができました。後期校内実習では、前期よりもステップアップした目標や内容を設定し、次年度につながるようにしていきたいと思います。



2年 前期現場実習

高等部2年生は、6月11日（水）から24日（火）までの10日間、現場実習を行いました。今回の実習は「技・心・体」を合言葉に、これまでの学習で身に付けた力が実際の職場でどれだけ発揮できるかを試す機会となりました。

実習先では、一人ひとりがもてる力を出し切り、自分の立てた目標を達成できるように取り組みました。緊張したり上手いかなかったりしたこともありましたが、たくさんの方に支えられ、無事に実習を終えることができました。この経験を生かし、日々の学校生活と家庭生活で見つかった課題を意識しながら取り組んでいきたいです。

七星食品株式会社



自動計量器で豚肉の計量をしました。

マルナカ長尾店



商品の品出しや野菜の袋詰めをしました。

東かがわ市役所



郵送書類の封入やはんこ押しをしました。

香川大学農学部附属農場



野菜の収穫や草抜きなどを行いました。

パック三樹



段ボールのバリ取りをしました。

朝日平成園



創作活動や個別課題をしました。



3年 前期現場実習



高等部3年生は、6月9日（月）～27日（金）までの3週間、それぞれの進路決定に向けて現場実習に取り組みました。「自立に向けてファイト一発！」の合言葉を胸に、希望する実習先での個別実習に臨みました。作業面や生活面で学校生活とは違った気付きやつまづきがあり、卒業後の生活イメージが見えてきたのではないかと思います。今回の実習で得られた成果と課題を、後期現場実習につなげていきたいと思ひます。

<お世話になった実習先>

就労継続支援B型

スマイルハートあすみ ・ すてっぷ
ほのぼのワークハウス ・ せんり
氷上ファクトリー ・ のぞみ園
ワークセンターはくちょう ・ かけはし高松



【商品の包装】

衛生面に気を付けながら、お菓子の包装をしています。機械を使ってきれいに封をすることができました。



【機械の清掃】

ウォーターサーバーを分解して、細かな所まで清掃をすることができました。分かりやすく教えていただき、すぐに手順を覚えることができました。



【電線の分別】

電線をパーツごとに分ける作業をしました。作業に慣れてくるとスピードアップして作業をすることができました。

生活介護

のぞみ園 ・ コンサフォス里結び
スリール

【穴通し】

手指を使って穴通しの課題に取り組みました。職員の方と一緒に真剣な表情でがんばりました。



【余暇活動】

利用者さんや職員の方と一緒に、落ち着いて楽しく過ごすことができました。

就労継続支援A型

ウィズくすがみ ・ ふじみ園

【食器の洗浄】

お客様が使い終わった食器を機械を使って洗浄しました。汚れが残らないよう確認しながら作業をがんばりました。



就労移行支援

ヒトトコ ・ ジャンプ



【パソコンデータ入力】

パソコンを使ってデータ入力の作業をしました。緊張しながらも、間違えることなく正確に作業することができました。

一般就労

株式会社しまむら アベイル東山崎店
タイヨウ株式会社
株式会社よんでんプラス

【タオルの乾燥】

乾燥器から大量のタオルを取り出して所定の位置に運ぶ作業をしました。他にも機械を使っておしぼりを巻く作業にも取り組みました。



【宿泊施設の清掃】

宿泊施設の清掃作業をしました。掃除機や雑巾等、清掃場所に応じて様々な道具を使い分け、隅々まできれいに仕上げることができました。



進路指導部

令和7年度 就労選択支援事業説明会

7月29日(火)、高等部2年生およびその保護者を対象に、今年度10月から始まる福祉サービス「就労選択支援事業」についての説明会を開催しました。当日は、さぬき市・東かがわ市・高松市の福祉課担当者様、相談支援事業所の担当者様、令和7年度就労選択支援事業モデル事業現地コーディネーターの六車様にご参加いただき、事業の概要や今後の手続きの流れについてご説明いただきました。後半には、それぞれの住所地ごとに分かれて、各市の福祉課担当者様および相談支援事業所担当者様と直接対話できる時間を設けました。個別の質問に丁寧に対応いただいたことで、就労選択支援事業を受けるにあたっての手続きやタイミングについて、より具体的に理解を深めることができたと思います。



夏季休業中 進路先訪問（追指導）について

本校では、卒業生に対して、卒業後の職業生活や家庭生活をスムーズに進めていくことができるように、関係支援機関と連携し、「進路先訪問（追指導）」を行っています。主に、卒業後すぐの3月、4月、夏季休業中に、就職先の企業や通所する福祉サービス事業所等を訪問し、卒業後に成長が見られるところや現在の課題、困り感について職場の方や本人と面談を行い、必要に応じて関係支援機関と連携をしながら、アフターケアを行います。また、進路先訪問で得た情報は、職員間でも共有し、在校生のキャリア教育や進路指導に役立てています。

☆今年度の進路先訪問における企業や事業所の方の声を紹介します。

<成長が見られるところ>

- ・運転免許を取得し、車通勤を目指している。機械を扱う等、新しい仕事を任されるようになった。(一般就労)
- ・分からないことがあれば、自分からメモに書き留めて職場の人に質問することができる。(一般就労)
- ・機械のトラブルなども自分で対処できるようになった。自分から相談することができる。(一般就労)
- ・明るくなり、利用者との会話が増えた。嫌な顔をせず仕事を引き受けてくれる。(A型事業所)
- ・遅刻、欠席なく、毎日自転車で通勤できている。自分の仕事に責任をもって作業に取り組み、利用者の方と仲良くサークル活動に取り組むこともできている。(B型事業所)
- ・作業面でできることが増えている。菓子作りでも卵が上手に割れるようになった。(B型事業所)
- ・近くに人が付いていなくても、一人で食事ができるようになった。(生活介護事業所)
- ・スケジュールカードを剥がすことで、気持ちの切り替えができるようになっている。(生活介護事業所)

<課題>

- ・朝、眠そうな様子が見られる。仕事に臨む状態を整えて出勤できるようになってほしい。(一般就労)
- ・在学時より急激な体重増加が見られ、健康診断の結果等、健康面での心配がある。(一般就労)
- ・今後、仕事のスピードアップができればなお良い。(一般就労)
- ・スマートフォンの使い方(しつこくLINEを送る、連絡先を何度も聞く等)について課題がある。(B型事業所)
- ・年配の利用者の方が多いので、年上の方に接する際の言葉遣いを身に付ける。(B型事業所)
- ・食事が減っているため、半分以上食べることを目標に取り組んでいる。(生活介護事業所)



☆ H.K.さん（令和5年度卒業生）

進路先

- ・株式会社よんでんプラス（一般就労）

勤務時間や日数、休日、通勤方法

- ・8：40～16：40（※早出の際7：20～）
- ・土、日、祝日休
- ・自転車、ことでんを利用したの通勤

主な業務内容

- ・宿泊室、研修室、廊下、階段、トイレ等の清掃作業
- ・封入封緘作業
- ・いちご農園での栽培補助作業



今の本人の気持ち

- ・清掃の仕事は、最終的にきれいになっていくのが分かるので、やりがいがある。封入封緘の仕事は先輩たちと協力して全部仕上げると達成感がある。いちご農園での仕事はハウスの中で汗をかきながらする作業だが、今、一番、やりがいがある。職場では、困ったときや分からないことがあったときにすぐに先輩たちが助けてくれたり、教えてくれたりする。仕事の合間や昼休みなどに先輩たちといろいろなと会話ができるので、楽しく仕事ができている。

休日の過ごし方

- ・弟や妹と外で遊んだり、家族と買い物に行ったりして過ごしていることが多い。職場の先輩たちとカラオケやラウンドワンに遊びに行くこともある。

後輩へのメッセージ

- ・職場では、周りの人と協力して作業することが多いので、挨拶や返事、質問、報告など、コミュニケーションが大切だと思う。学校にいる間に、しっかり練習をして、挨拶や返事、質問、報告ができるようになってほしい。また、僕は部活動に参加することで、仕事をするための体力が付いたと思うので、いろいろなことに挑戦してほしい。

職場の方の声

- ・温かな性格で人柄が良く、職場の先輩たちとも柔軟にコミュニケーションをとりながら仕事に取り組むことができている。業務にも慣れ、入社時よりも手際よく作業ができるようになっている。課題としては、集中力を継続して業務に臨むこと。そのために、自身の作業レベルの向上を常に意識して作業に取り組むことに加え、万全の状態で行事をするための生活リズムの構築も心がけてほしい。